

パデル練習システムの開発

① パデルとは

- ・1970年代に成立したラケットスポーツ。ダブルスでプレイすることが一般的。
- ・コートが強化ガラスと金網の壁で、壁に当たったボールを打ち返すことができ、戦略的なプレイが必要。

② 課題：パデルの普及と新事業化

海外

- ・ヨーロッパと南アメリカにおいて絶大人気を誇る
- ・アジア圏と北アメリカではまだ発展途上

国内

- ・コート数、プレイ人口が少ない
- ・知名度がない

➡ 東阪電子機器はパデルの普及を通じて新規事業の立ち上げを目指す。

③ パデル普及のためのアイデア生成によるキーワード

室内、ラウンドワン、テニススクール+α
他のスポーツと併用

マスメディア利用
インバウンド向け、ホテル

練習場所、壁打ち、ラケット
Goods、練習マシン

パデル

Youtube, インフルエンサーファッション、
SNS, 流行, ゲーム

小中高生、中高年、富裕層など
学校体育に採用

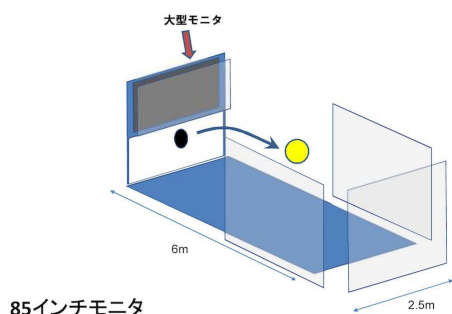
安く手軽に
飲食、他の娯楽との組み合わせ

➡ 何処でも簡単にパデルの壁打ち練習が出来るように壁打ち練習システムをデザインし、使用感評価を行う。

④ パデル壁打ち練習システムの開発

1号機のデザイン

- ・大型モニタを用いて仮想の相手を見ながら練習
- ・モニタ前面をアクリルパネルで保護
- ・ピッチングマシンを画像に同期させるため光センサを取り付け発車タイミングを示す
- ・ピッチングマシンは強い打球用を別途用意



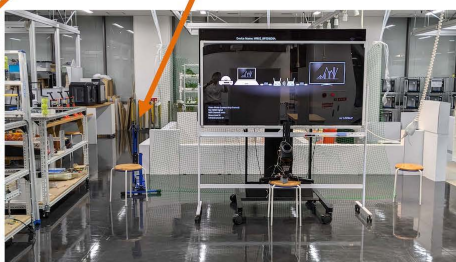
モニターの映像例

・映像内のボールが画面手前まで来たとき、
投擲部の球が発射されるイメージ

ピッチングマシン

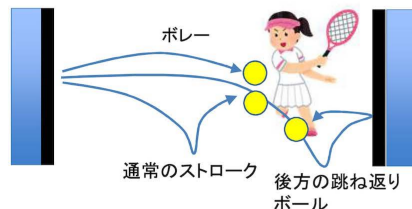
後方壁での跳ね返り用(センサによるボール射出検知)

保護用アクリルパネル

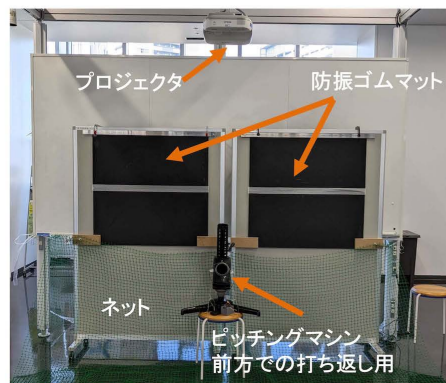


後方反射板

練習する打球のパターン



2号機のデザイン



- ・壁の安定化と静音化のために重量のある防振ゴムマットを使用
- ・モニタ使用に対して低コストで実現可能
- ・壁パネルを複数に分割し組み立て、移動などが簡単にできる
- ・映像は短焦点レンズのプロジェクタを使用
- ・今後、ピッチングマシンの機能として首振り、スピード可変、ボールの自動回収などの機能が望ましい